

小学生以上、成人用

神経系統の障害に関する医学的意見

患者氏名	男	女
記入年月日	年	月
病院名	オ	
診療科		

1. 画像(脳MRI、脳CTなど)および脳波 これらの医学的検査において、検査名・検査日と検査ナビ所見をお示しください。

2. 神經心理学的検査 知能、記憶、情報処理能力、遂行機能、音読などの検査を行っていましました。  
検査名と所見をお示しください。(併せて後面報告書のコピーを添付してください。)

検査日( 年 月 日 ) 検査名と所見:

3. 運動機能 挿する項目に○をつけてください。また筋力もMMT(5~0)で記入してください。

右上肢 筋力	1.正常 筋屈曲: 肘屈曲: 前腕屈曲: 手筋屈曲: 2.手指拘張低下	3.筋助伸: 肘筋屈曲: 前腕筋屈曲: 手筋伸曲: 4.筋引: 手筋伸曲:
左上肢 筋力	1.正常 筋屈曲: 肘屈曲: 前腕屈曲: 手筋屈曲: 2.弱低下	3.筋助伸: 肘筋屈曲: 前腕筋屈曲: 手筋伸曲: 4.筋引: 手筋伸曲:
右下肢 筋力	1.正常 筋屈曲: 膝屈曲: 前腕屈曲: 手筋屈曲: 2.弱低下	3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 4.筋引: 手筋伸曲:
左下肢 筋力	1.正常 筋屈曲: 膝屈曲: 前腕屈曲: 手筋屈曲: 2.弱低下	3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 3.筋立たずきやすい 4.筋引: 手筋伸曲:
体幹 筋力	1.正常 筋屈曲: 膝屈曲: 手筋屈曲: 2.筋弛緩	3.筋弛緩く立っている 4.座っていない

4. 身の回り動作能力 挿する項目に○をつけてください。

食事動作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.全面的に介助
更衣動作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.全面的に介助
排尿・排便動作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.全面的に介助
排便・排便動作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.全面的に介助
入浴動作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.全面的に介助
屋内歩行	1.自立 2.つかまり歩き／下り 3.立ち歩き/扶杖・歩行器 4.屋内歩行不能
屋外歩行	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.立つたぎ/杖・歩行器 4.屋外歩行不能
階段昇降	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.階段昇降不能
車いす操作	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.車いす自走不能
公共交通機関	1.自立 2.ときどき介助・見守・手助け 3.ほとんどできな／＼大部介助 4.公共交通機関は利用できない

5. てんかん発作の有無

(1) 無し

(2) 有り:

- ①治癒のために使用している抗てんかん薬の種類と量:
- ②上記の治療を行っていても発作がある場合は、その頻度: 年 \_\_\_\_ 回程度、月 \_\_\_\_ 回程度
- ③多く見られる発作の型:

6. 認知・情緒・行動障害 (以下の1~21の症状について該当する数字に○をつけてください)

1 なし	2 軽度 / 症状 には支障がない	3 中等度 / ときどき 援助で対応している	4 重度 / 非常に深刻な 困りなっている。
1 以前に覚えていたことを思い出せない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
2 新しいことを覚えるのが困難である	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
3 嘸れやすく、すぐ居眠りする	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
4 自発性低下、声かけが必要	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
5 気分が悪くなり、疲れっぽい	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
6 発想が乱れ、自己中心的	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
7 話がまわりくどく、考え方を伝えられない、周囲とのコミュニケーションを下手に行えない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
8 情緒の性徳を同時に行えない、	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
9 慢性的な性格を同時に持つことができない、行動を抑制したり、正確に選択することができない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
10 行動を抑制したり、正確に選択することができない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
11 怖音性、しつこい、こだわる	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
12 感情の変動が幅広く、気分が変わらやすい、感情や運動をコントロールできない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
13 ちょっとしたことでもすぐ怒る	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
14 ちょっとしたことでもすぐ喜ぶ	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
15 着物・暴力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
16 性的な興奮行動・性的な興奮心の欠如	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
17 かきだまし、気分が気持ち悪い	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
18 特に理由もなく不安を感じている	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
19 夜、寝つけない、眠れない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
20 気分や妄想がある	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
21 变換前と違っていることを自分で認めた	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

7. 上記6. の症状が社会生活・日常生活に与える影響について具体的にご教示ください。

- 8. 全般的活動および適応状況
- 家庭、地域社会、職場、または学校などのでの、全般的活動状況からみに適応状況について具体的に教示ください。